

のり海況速報 第6報 (27-6)

平成27年12月10日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/7：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(11/20-12/10)、東京湾口海況図(11/20-12/10)
 自動観測ブイデータ(11/20-12/10)、拓南観測データ(12/7)
 モニタリングポスト(12/7：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は11月26日頃からの朝の冷え込みによって降下し、君津沖はやや高いものの、その他はおおむね14～15℃台です。塩分は31～32台で、平年よりやや高めです(図1)。
- ・内房北部の表層水温も16℃台に下がりました。塩分は33台前半です。
- ・内湾の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、ともに水深15m付近まで表層とほぼ同様の分布ですが、中央部の底層付近ではともにやや高い水塊がみられます(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は、11月26日から12月2日にかけて水温20℃以上の水塊の波及があったものの、その後は弱まり、現在はノリ漁場への影響は少ない模様です。

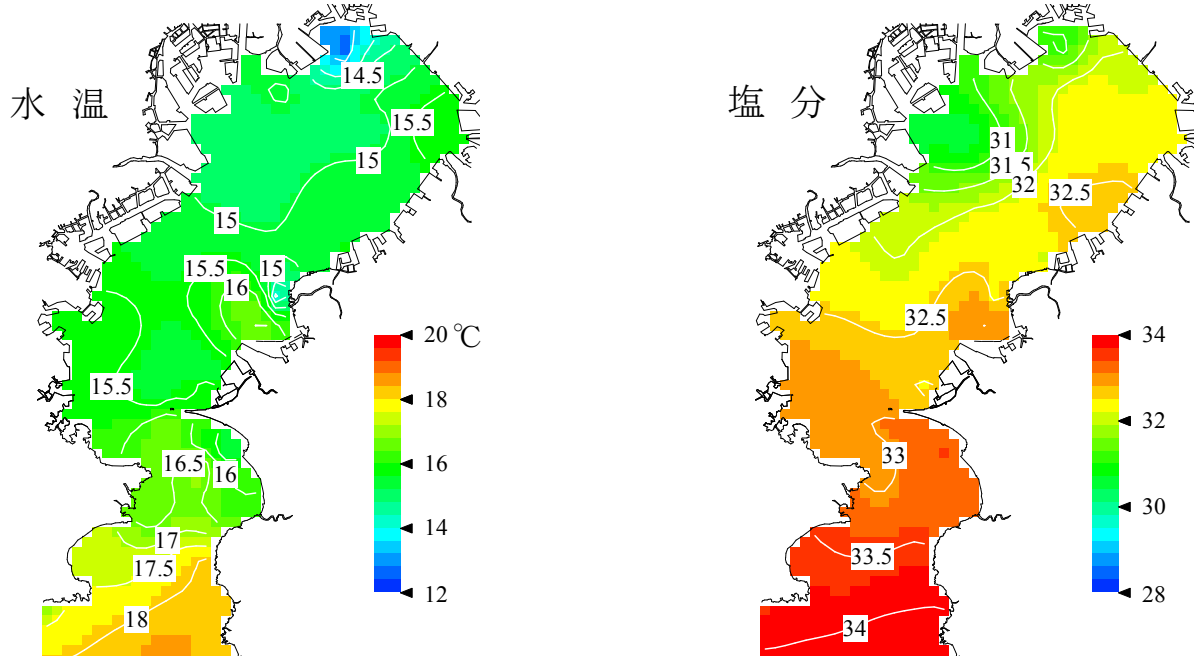


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年12月 7日)

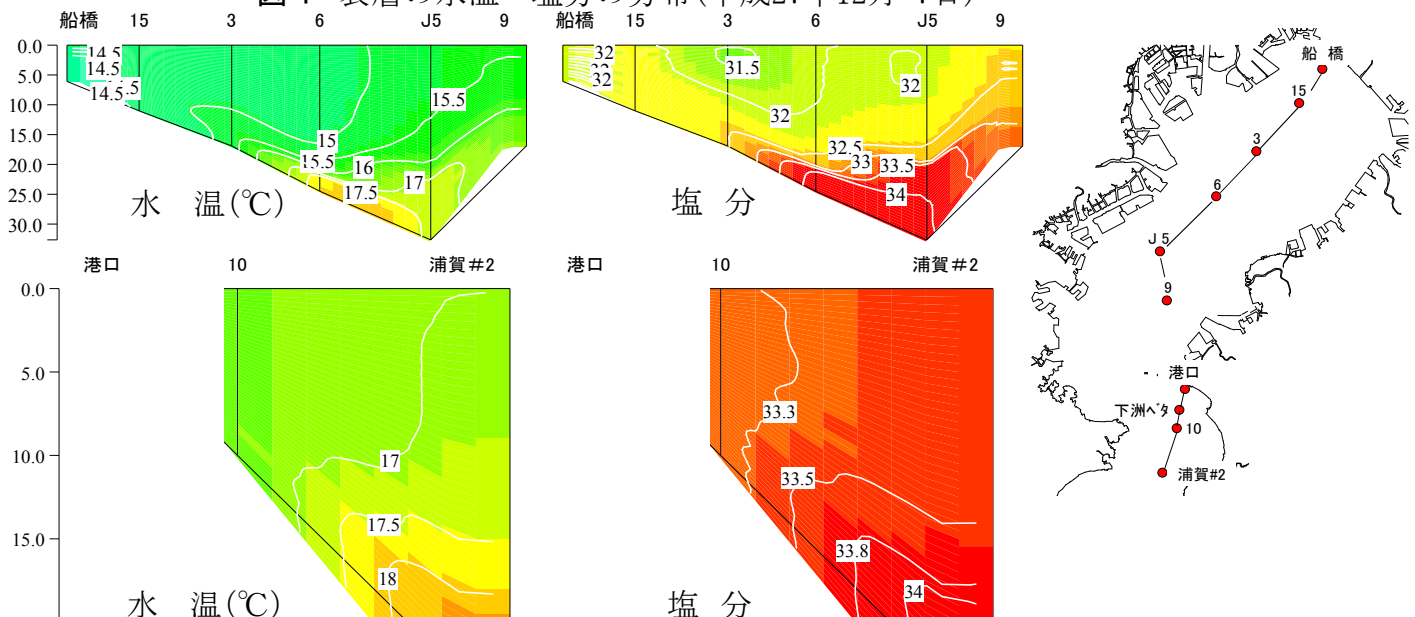


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年12月 7日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは少なく、渦鞭毛藻のプロロケントルム、ケイ藻のタラシオネマなどが少量みられる程度でした。透明度は内湾北部でやや低いものの、その他は4m前後あり、水色はおおむね黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)ともにのり養殖にとって十分な量です。

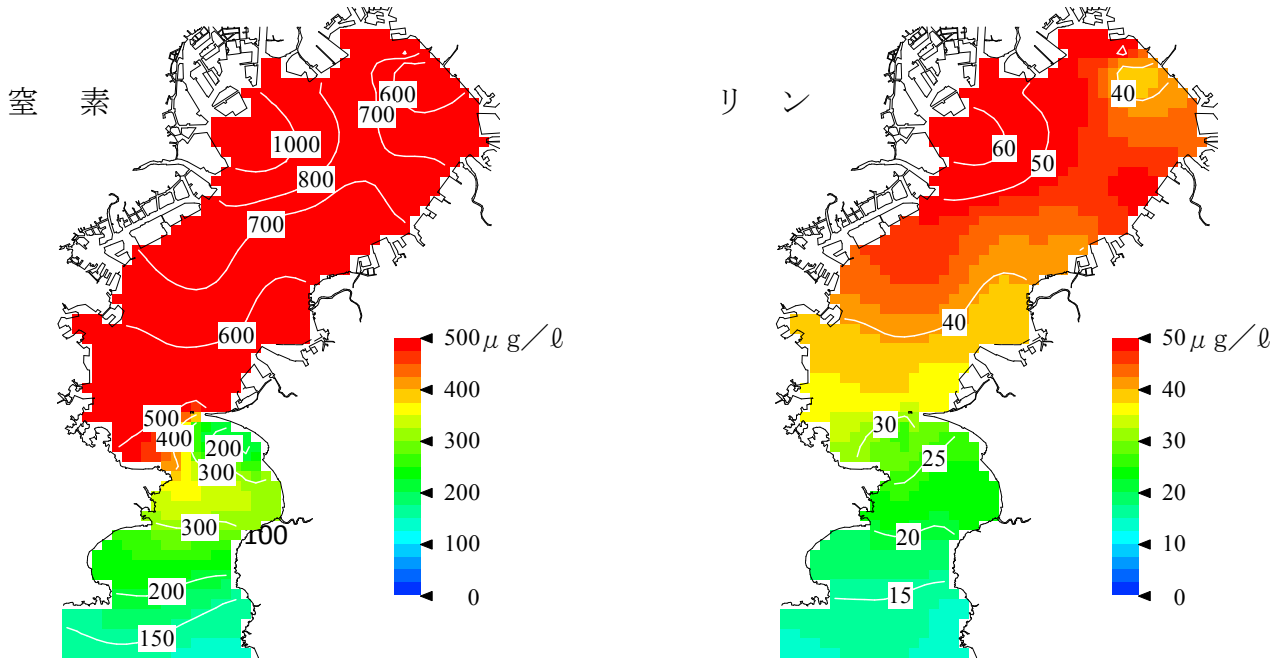


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年12月 7日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について, 5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html